

施設名	寺子屋方丈舎 平フリースクール		
代表者	NPO 法人寺子屋方丈舎 理事長 江川和弥	設 立	令和 1999 年 5 月
所在地	いわき市平倉前 112-1		
H P	https://www.terakoyahoujyousha.com	T E L	070-5453-7131
S N S	Facebook : https://www.facebook.com/terakoyaiwaki Instagram : https://www.instagram.com/terakoya_iwaki/		
E - m a i l	terakoya.iwaki@gmail.com	F A X	無し
対 象	7 歳～15 歳 (小学生～中学生)		
定 員	20 名		
スタッフ	常勤 1 名・非常勤数名		
専門家の有無	あり (相談経験 5 年以上スタッフ/社会福祉士)		
活動日・時間	毎週：水・木・金 (10:00～17:00) ※夏休み・冬休み・春休み等の長期休みは、休校とする。		
理 念 特 色	<p><理念></p> <p>寺子屋方丈舎のミッションは「子どもの社会参画」を支援し、子どもたちにとって幸せな未来をつくることです。誰かの人生を生きることは、本人を苦しくします。こどもが自分の頭で考えて思考することを大事にしています。</p> <p>私たちが大事にしているのは「こどもの権利条約」に基づいた権利擁護。子ども中心の学びの実践です。大人が、子どもを教育しようとすればするほど、苦しむ子どもたちに数多く出会ってきました。この痛みをフリースクールの教育実践にいかしたいと考えています。</p> <p><寺子屋方丈舎 平フリースクールの特徴></p> <p>いわき駅から 15 分。交通アクセスもよく、近隣の地域からは子どもが自分で通いやすい立地です。子ども同士の関わりやスタッフとのコミュニケーションを通し、子ども自身の主体性を大切にする環境の中で音楽演奏や料理体験など様々な活動を行っています。</p>		
活動紹介	<p><学習支援></p> <p>学習時間など決まった時間は、設定していません。教科学習だけを学習とはとらえていません。対話を中心にスタッフの側から問いを立てる学びの実践をしています。子どもは考えれば考えるほど、思考力が高まります。自分の身近なことから学びはじめ、全体を理解していきます。</p> <p>*お金はなぜ必要? *1日なぜ3食たべるのか *国が変われば、幸せの価値は変わるのか? *成績評価のない国と受験競争のある国では、どちらの子どもは主観的に幸せか? こんな答えのない問いに挑戦しています。</p> <p>その他、街中の公園や体育館での運動、磯遊びなど屋外の活動も積極的に行っています。</p>		

	<p><体験活動></p> <p>自分たちでの調理体験や、ピアノやギターなどの楽器演奏、さらに深く追求したい場合には作曲や音楽理論までを含めた本格的な音楽体験が可能です。団体では職業体験と教育旅行を大事にしています。旅をすると、今日何たべる。どこに泊まる。誰と何をやる。たくさんのことを考え、決めます。</p> <p>これまで、勉強は嫌いだけど、職業体験で人から求められる経験をする中でイキイキする子どもにたくさん出会ってきました。スタッフは問いを出し、学ぶという体験型の学習を重視しています。</p> <p>いわゆる、PBL (Project-Based Learning) 型の学習です。この学習方法は、生徒が自ら問題を発見し、解決する能力を養うことを目的とした手法です。</p> <p><屋内活動></p> <p>パズルゲームなどでのコミュニケーションやイラストなど。季節ごとの行事、地域参加型のイベントなども子どもたちが楽しめる内容を自分たちで考え、積極的に行います。</p> <p><教育相談></p> <p>団体では、不登校相談のデータを収集しております。同じような経験をした子どものフリースクールでの学びの経験前と後の変化。自分で決める力がついた後の子どもの成長の劇的な変化等、どんなに大変でも保護者の向き合う力でいくらかでも変化がつけられる事例を共有していきます。</p> <p><仲間づくり></p> <p>子ども達一人一人が関係構築をする力を養います。必要な時に支え合う仲間がいることで子どもの内面変化が加速します。また法人が運営している“寺子屋方丈舎山の中のフリースクール”と連携し、自然体験を通じた関係性も増やしていきます。</p> <p>地域住民との交流や、国際ボランティアと活動する事で、自分で異質なものを楽しむ力を身につけます。</p>				
費用	月利用費：19,000 円 日利用：3,000 円 その他：賛助会員費 2,000 円（年度更新）				
保護者との連携	親の会の実施（毎月 1 回を想定） オンラインでの個別相談				
学校との連携	必要に応じて出席日数を出します。学校との連携会議等の開催も行いたいです。				
通所者数	10名 (R6.12 現在)				
施設としての方針	学習支援	体験活動	屋内活動	教育相談	仲間づくり
	○	◎	◎	○	◎

【記号について】「◎」…特に力を入れている活動、「○」…実施している活動、「△」…場合によっては実施する活動、「-」…活動していない